

治験をサポートする治験コーディネーター：CRC

肝臓川柳

治験には サポートあるし 安心よ

(サポートあるし…あるし…あーるしー…しーあーるしー…シーアールシー…CRC)

人を対象に新しい薬や治療法の効果や安全性を科学的に調べる方法を「臨床試験」といいますが、その中で新しい薬を健康な成人や患者に使用して、効果や安全性、治療法などを確認するために行われるものを「治験」と呼んでいます。

治験の成績を厚生労働省に申請し、薬として承認されてはじめて、多くの患者に安心して使われるようになります。

現在新型コロナワクチンの治験のニュースが多く出ていますが、肝臓病でも多くの治験がなされています。

最近とくに非アルコール性脂肪肝炎（NASH）に対する治験が盛んになされており、福井県済生会病院でも今までに4件実施され、現在も数件施行中で、どなたでも参加可能です。

治験には多くの職種の方が携わっていますが、その中で治験コーディネーター〔CRC (clinical research coordinator) 〕という職種の方がいて、医療機関と製薬会社、患者さんとの間に立ち、薬の開発試験である治験がスムーズに進行するようにサポートを行っています。

CRCは医師の指示の下で、治験に参加する患者さんの人権や安全性を守り、科学性、信頼性の高い治験を円滑に進められるように、そしていつも安心して治験に参加して頂けるように、病院内での調整役を担っており、また、医学・医療の発展のために日々働いています。

治験に関して分からないことや悩んでいることがあれば、CRCにお気軽にご相談ください。



これだけ覚えておいて損はない！今回のポイント

CRCとは、新薬を健康な成人や患者に使用して、効果や安全性、治療法などを確認するための「治験」の際に、参加する患者さんの人権や安全性を守り、科学性、信頼性の高い治験を円滑に進められるように、安心して治験に参加していただけるように、医師の指示の下、病院内での調整役を担っている、それがCRC＝治験コーディネーターなのだ！

(文：福井県肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患センター長 野ツ俣 和夫)